

## 芝田豊彦教授 略歴および研究業績

その他のタイトル	Lebenslauf und Publikationen von Prof. Toyohiko Shibata
雑誌名	独逸文學
巻	65
ページ	1-7
発行年	2021-03-20
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10112/00023412">http://hdl.handle.net/10112/00023412</a>

## 芝田豊彦教授 略歴および研究業績

### 略 歴

- 1952年6月 兵庫県に生まれる
- 1971年3月 甲陽学院高等学校卒業
- 1972年4月 京都大学理学部入学
- 1977年3月 京都大学理学部卒業
- 1977年4月 武庫川高等学校教諭（数学科）（～1983年3月）
- 1984年4月 関西大学大学院文学研究科独逸文学専攻博士課程前期課程入学
- 1986年3月 関西大学大学院文学研究科独逸文学専攻博士課程前期課程修了
- 1986年4月 関西大学大学院文学研究科独逸文学専攻博士課程後期課程入学
- 1989年3月 関西大学大学院文学研究科独逸文学専攻博士課程後期課程所定単位修得後退学
- 1991年4月 関西大学文学部専任講師（～1993年3月）
- 1993年4月 関西大学文学部助教授（～2000年3月）
- 1997年4月 関西大学在外学術研究員 マールブルク大学神学部にて研究（～1998年3月）
- 1999年4月 関西大学東西学術研究所研究員（～2003年3月）
- 2000年4月 関西大学文学部教授（～2020年3月）
- 2006年3月 博士（文学） 関西大学 論題「ドイツにおける神秘的・敬虔的思想の諸相 ―神学的・言語的考察―」
- 2013年8月 関西大学在外調査研究員 ドイツにて調査研究（～2013年9月）
- 2020年4月 関西大学文学部特別契約教授（～2021年3月）

## 非常勤講師歴

- 1989年4月 関西大学 ドイツ語担当（～1991年3月）  
1994年4月 京都大学総合人間学部 ドイツ語担当（～1996年3月）

## 研究業績

### 著書（単著）

- 『マールブルク聖書とベルレブルク聖書における雅歌』（Das Hohelied der Marburger und Berleburger Bibel）関西大学東西研究所資料集刊23（編著、主にドイツ語）関西大学出版部 2003年1月  
『ドイツにおける神秘的・敬虔的思想の諸相 ―神学的・言語的考察―』関西大学出版部 2007年3月

### 著書（共著・分担執筆）

- 『滝沢克己を語る』春風社 2010年3月 題目「フランクルと滝沢克己 ―人生の〈意味〉を巡って―」  
『関西大学東西学術研究所創立60周年記念論文集』関西大学出版部 2011年11月 題目「カール・ヒルティ晩年の思想の批判的考察 ―『眠られぬ夜のために』第二部に即して―」  
『今を生きる滝沢克己 生誕110周年記念論集』新教出版社 2019年3月 題目「ハイデッガーと滝沢克己 ―人間存在の絶対的受動性について―」

### 訳書

- ハイデッガー全集第13巻『思惟の経験から』（共訳、東専一郎）創文社 1994年7月  
ハンス・シュナイダー『ドイツにおけるラディカルな敬虔主義』（単著）関西大学出版部 2013年11月  
フランクル ラビーデ『人生の意味と神 ―信仰をめぐる対話―』（共訳、広岡義之）新教出版社 2014年9月

## 学術論文

- 「キルケゴール、バルト、滝沢の神学 —その発展と本質についての考察—」 関西大学大学院文学研究科院生協議会『千里山文学論集』第32号 1985年3月
- 「現代ドイツの敬虔主義 —DGDの活動を通して—」（共著他1名）  
関西大学大学院文学研究科院生協議会『千里山文学論集』第36号  
1988年10月
- 「若きヘーゲルにおける「生」の思想 —ヘルダーリンとの関連で—」  
関西大学独逸文学会『独逸文学』第33号 1989年6月
- 「キリスト讃歌におけるヘルダーリンの神学的思惟」 関西大学独逸文学  
会『独逸文学』第34号 1990年5月
- 「ヘルダーリンの詩作における聖書の単語について —神学的・言語的  
考察—」 大阪電気通信大学文学語学研究会『文学芸術研究』第7  
号 1991年3月
- 「ヘルダーリンの作品に於ける Geist の用法について (1)」 関西大学文  
学会『関西大学文学論集』第42巻第2号 1992年12月
- 「ヘルダーリンの作品に於ける Geist の用法について (2)」 関西大学文  
学会『関西大学文学論集』第43巻第2号 1993年12月
- 「ヘーベルとハイデッガー」 創文社『創文』第385号 1994年9月
- 「テオドル・イエリングハウスに於ける「聖化」の諸問題」 関西大学文  
学会『関西大学文学論集』第44巻第1～4号 文学部創設70周年  
記念特輯 1995年3月
- 「ヘルダーリンの作品に於ける Geist の用法について (3)」 関西大学文  
学会『関西大学文学論集』第46巻第1号 1996年9月
- 「マールブルク聖書における『雅歌』(1)」 関西大学文学会『関西大学  
文学論集』第48巻第3号 1999年2月
- 「マールブルク聖書における『雅歌』(2)」 関西大学文学会『関西大学  
文学論集』第49巻第2号 2000年2月
- 「マールブルク聖書における『雅歌』(3)」 関西大学文学会『関西大学  
文学論集』第50巻第4号 2001年3月
- 「エティンガーに於ける〈七つの霊〉と〈神の栄光〉について」『関西  
大学東西学術研究所50周年記念論文集』2001年10月

- 「マールブルク聖書における『雅歌』（補遺）」 関西大学文学会『関西大学文学論集』第51巻第4号 2002年3月
- 「敬虔主義とゲーテ」 関西大学独逸文学会『独逸文学』第47号 2003年3月
- 「ゴットフリート・アルノルトとソフィア神秘主義」『関西大学東西学術研究所紀要』第36輯 2003年3月
- 「ゾイゼにおける「放下」と「キリストの形」について 一道元、一遍との比較一」 関西大学文学会『関西大学文学論集』第53巻第4号 2004年3月
- 「ルター聖書における Klarheit 一由来と18世紀の用法一」 関西大学文学会『関西大学文学論集』第54巻第3号 2005年1月
- 「過去としての時 一フランクとハイデッガーの時の思想一」 創文社『創文』第485号 2006年4月
- 「回心とその根拠 一文学的・宗教的考察一」 関西大学独逸文学会『独逸文学』第52号 2008年3月
- 「フランクと滝沢における「過去存在」の思想 一田辺の〈死の哲学〉との関連で一」 日本宗教学会『宗教研究』356号 2008年6月
- 「V. E. フランクにおける人間像と神 一滝沢神学との比較一」 関西大学文学会『関西大学文学論集』第59巻第4号 2010年3月
- 「バッハのマタイ受難曲における「心」」 関西大学独逸文学会『独逸文学』第54号 2010年3月
- 「滝沢神学から見た死と無常 一シュトルム、フランク、小林秀雄と関連させて一」 滝沢克己協会『思想のひろば』第22号 2011年3月
- 「(書評論文) 岡部雄三『ヤーコプ・ベームと神智学の展開』」 日本基督教学会『日本の神学』50号 2011年9月
- 「「信」とは何か 一Stefan S. Jägerの著作を手がかりに一」 関西大学文学会『関西大学文学論集』第62巻第4号 2013年3月
- 「Probleme der Logotherapie unter religionsphilosophischem Gesichtspunkt 一„Ausdruck“ bei K. Nishida und W. Bühling」 関西大学独逸文学会『独逸文学』第58号 2014年3月
- 「滝沢神学における「信」 一フランク、ティリッヒ、星野元豊と関連

- させて一」(2013年度滝沢克己協会総会時記念講演) 滝沢克己協会『思想のひろば』第25号 2014年3月
- 「原事実と超意味 —対話を促進するために—」 関西大学独逸文学会『独逸文学』第59号 2015年3月
- 「Bei-seinの用法について —遠さと近さの逆説性—」 関西大学独逸文学会『独逸文学』第60号 2016年3月
- 「フランクフルトと現象学」 関西大学文学会『関西大学文学論集』第65巻第3・4合併号 2016年3月
- 「フランクフルトにおける精神と責任 —「心理療法の精神的問題性について」(1938年)—」 関西大学文学会『関西大学文学論集』第66巻第4号 2017年3月
- 「滝沢克己における「神の呼びかけ」と「神の似像」 —S・ヘネッケの導入論文を手がかりに—」 関西大学独逸文学会『独逸文学』第61号 2017年3月
- 「フランクフルトにおける価値範疇と態度価値 —池田香代子訳『夜と霧』の批判的検討—」 関西大学独逸文学会『独逸文学』第62号 2018年3月
- 「フランクフルトにおける対話的思想 —ブーバーおよび滝沢との関連で—」 関西大学独逸文学会『独逸文学』第63号 2019年3月
- 「「不安」の開示する力について —ハイデッガー、リルケ、滝沢克己—」 『井上克人教授退職記念論文集』2020年2月
- 「日本物理学会における滝沢講演(1984年) —滝沢克己と武谷三男—」 滝沢克己協会『思想のひろば』第27号 2020年2月
- 「ドイツから見た滝沢思想 滝沢講演『仏教とキリスト教における義認』」 滝沢克己協会『思想のひろば』第28号 2021年2月
- 「ハイデッガーにおける Ereignis と Austrag —滝沢神学との比較—」 関西大学独逸文学会『独逸文学』第65号 2021年3月

### 事典項目執筆

- 『新版 キリスト教大事典』 教文館(未刊) 項目「敬虔主義の文学」「ゲーテ」「賢者ナータン」「ファウスト」「ヘルダーリン」2019年9月入稿済み

### その他（座談会）

「高校教育からみた大学教育（座談会）」 関西大学一般教育等教育センター『研究センター報』第22号 1996年9月

### その他（東西学術研究所研究例会報告）

「ソロヴィヨフのソフィア論」 1999年10月東西学術研究所研究例会報告『東西学術研究所々報』第70号 2000年3月

「ゴットフリート・アルノルトの雅歌解釈について」 2001年12月東西学術研究所研究例会報告『東西学術研究所々報』第74号 2002年4月

### その他（論文・発表の概要）

「Hölderlinの„Friedensfeier“について」（修士論文概要） 関西大学独逸文学会『独逸文学』第30号 1986年3月

「Hölderlins theologisches Denken in den Christushymnen」（論文概要）  
*Hölderlin-Jahrbuch Bd. 28. Im Auftrag der Hölderlin-Gesellschaft. Stuttgart (Metzler) 1993.*

「関西大学独逸文学会第110回研究発表会 シンポジウム：ドイツ語と聖書—さまざまな観点からのアプローチ— 担当：ヘブル語聖書と種々のドイツ語訳聖書」 関西大学独逸文学会『独逸文学』第62号 2018年3月

### その他（エッセイ等の寄稿）

「宗教的古典」 関西大学教育後援会『蘆』第106号 1997年5月

「使命と責任 —東日本大震災におもう—」 日本ロゴセラピー & 実存分析研究所・仙台『ニュースレター』第2号 2011年7月

「2012年—「路地で呼ばれる知恵」に聞く」 日本ロゴセラピー & 実存分析研究所・仙台『ニュースレター』第3号 2012年1月

「現在のためのヴィクトール・フランクル —フロイト、アードラー、ユングと関連させて—」 日本ロゴセラピー & 実存分析研究所・仙台『ニュースレター』第4号 2012年7月

「苦しみの意味と日本人」 日本ロゴセラピー & 実存分析研究所・仙台

- 『言葉と沈黙と』第5号 2013年1月  
「不安から希望へ」 日本ロゴセラピー & 実存分析研究所・仙台『言葉と沈黙と』第6号 2013年7月  
「いい人は帰ってこなかった —池田香代子訳『夜と霧』への疑義—」  
日本ロゴセラピー & 実存分析研究所・仙台『言葉と沈黙と』第7号 2014年1月  
「文学における永遠の女性「像」」 同学社『ラテルネ』116号 2016年9月



